



Polycom® SoundPoint® IP 450 電話

クイックユーザガイド

基本的な電話機能 電話機能のカスタマイズ

SIP 3.1 以降が電話に対応

詳細については、『User Guide for the Polycom SoundPoint IP 450 Phone』を参照してください (ドキュメントは以下のアドレスで入手可能)。

www.polycom.com/support/voicedocumentation/

© 2008 Polycom, Inc. All rights reserved.
Polycom, Polycom ロゴ, SoundPoint, および SoundStation は、米国およびその他の国における Polycom, Inc の登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの会社が所有しています。この文書中の情報は、予告なしに変更することがあります。

基本的な電話機能

通話の発信

ハンドセットを使用している場合：

ハンドセットを取って電話番号をダイヤルします。または、電話番号をダイヤルしてからハンドセットを取ります。

スピーカホンを使用している場合：

- ハンドセットを置いたままで、回線が割り当てられているラインキーを押すか、**[通話]** ソフトキーを押してから電話番号をダイヤルします。

または

- 番号をダイヤルしてから **[呼出]** ソフトキーを押します。

オプションのヘッドセットを使用している場合：

- ヘッドセットが接続された状態で、回線が割り当てられているラインキーを押すか、**[通話]** ソフトキーを押してから  を押し、電話番号をダイヤルします。

または

- 番号をダイヤルしてから  を押します。

通話中に、**[ヘッドセット]** キーまたは **[スピーカホン]** キーを押すか、ハンドセットを取り上げるとモード間での切り替えができます。

通話の応答

ハンドセットを使用している場合：

>> ハンドセットを取ります。

スピーカホンを使用している場合：

>> 、点滅中のラインキー、**[応答]** ソフトキーのいずれかを押します。

オプションのヘッドセットを使用している場合：

>>  を押します。

[拒否] ソフトキーを押すと、着信通話を無視できます。

通話の終了

通話を終了するには、**[終了]** ソフトキーを押します。使用中のモードによっては、 または  を押すか、ハンドセットを元に戻します。

マイクのミュート

通話中に  を押します。ミュートは、すべてのモードで使用できます。ミュートがオンになっている間は、他のすべての参加者の声はこちら側に聞こえますが、こちら側の声は他の参加者に聞こえなくなります。

ミュートをオフにするには、 をもう一度押します。

通話の保留と再開

通話中に  または **[保留]** ソフトキーを押します。そのラインキーが赤く点滅します。

保留中の通話を再開するには、、**[再開]** ソフトキー、その通話のラインキーのいずれかを押します。ラインキーが緑色に戻ります。

リダイヤル

最後にダイヤルした番号にかけるには、 を押します。

通話の転送

通話の転送を行うには、次の操作を行います：

1. 通話中に **[転送]** ソフトキーを押します。現在の通話は保留状態になります。
2. 転送先に通話を発信します。
3. 呼出音が鳴っている間、または転送先の参加者と会話した後に、**[転送]** ソフトキーを押します。

転送先の参加者と会話しないで、通話を自動的に転送することもできます。手順1の後に、**[ブラインド]** ソフトキーを押します。次に手順2を実行します。

通話の着信転送*

通話の着信転送をオンにするには、次の操作を行います：

1. 待機画面で、**[転送]** ソフトキーを押します。[†]
2. 有効にする転送の種類を選択します (**[常時]**—すべての着信コールを転送、**[無応答]**—応答されなかったすべての着信コールを転送、**[応答不可]**—通話中に着信した通話を転送)。
3. 転送先の番号を入力します。
4. **[有効]** ソフトキーを押します。

通話の着信転送をオフにするには、次の操作を行います：

1. 待機画面で、**[転送]** ソフトキーを押します。[†]
2. 無効にする転送のタイプを選択します。
3. **[無効]** ソフトキーを押します。

短縮ダイヤル

連絡先をすばやくダイヤルするには、その連絡先の短縮ダイヤルインデックス番号を使用するか、その連絡先の短縮ダイヤルキーを押します (割り当てられている場合)。

短縮ダイヤルキーの使用：

>> 電話の右上にある連絡先の短縮ダイヤルキーを押します。

短縮ダイヤルインデックス番号の使用：

>> 上矢印キーを押し、連絡先の短縮ダイヤルインデックス番号を入力します。

短縮ダイヤルキーを割り当てするには、番号が割り当てられていないラインキーを押し続け、連絡先情報を入力してから **[保存]** ソフトキーを押します。短縮ダイヤルインデックス番号の追加または編集は、**[連絡先リスト]** でその連絡先の **[短縮ダイヤルインデックス]** フィールドを更新して行います。**[連絡先リストの更新]** を参照してください。

* 社内の設定がこの機能に優先する場合があります。ラインを共有している場合には、通話の転送はできません。

† 複数のラインがある電話では、**[転送]** ソフトキーを押してから、通話の転送を有効または無効にするラインを選択する必要があります。

応答拒否の使用[†]

電話の呼出音は停止できます。

[着信拒否]を有効または無効にするには、次の操作を行います：

>> **[Menu]** を押し、**[機能]**>**[着信拒否]** を選択します。

着信拒否が有効になっている場合、 および  が画面上で点滅します。

会議通話のホスト^{**}

会議をホストするには、次の操作を行います：

1. 最初の参加者に通話を発信します。
2. 最初の参加者が応答した後に、**[会議]** ソフトキーを押します。現在の通話は保留状態になります。
3. 2番目の参加者に通話を発信します。
4. 2番目の参加者が応答したら、**[会議]** ソフトキーを押します。これで、すべての参加者が会議に参加します。

次のいずれかの操作が可能です：

- 会議を保留にするには、**[保留]** ソフトキーを押します。会議を再開するには、**[再開]** ソフトキーを押します。
- 会議を終了するには、**[終了]** ソフトキーを押します。別の参加者の接続は維持されます。
- 保留中に会議を2つの通話に分離するには、**[回線の切り離し]** ソフトキーを押します。

通話中の回線と保留中の回線がある場合、**[会議に参加]** ソフトキーを押すとこの3者間で会議を開催できます。

ボイスメールの再生^{††}

新しいボイスメールがあることは、電話画面でのアイコン表示、ラインキーの点滅、通常の呼出音の代わりに鳴る連続した呼出音によって通知されます。

†. 社内設定がこの機能に優先する場合があります。
** 会議は、お客様のシステム管理者が設定するオプションの機能です。オプションは異なる場合があります。
††. ボイスメールは、通話プラットフォーム依存型の機能です。オプションは異なる場合があります。

ボイスメッセージを聞くには、次のようになります：

1. **[Messages]** を押し、**[メッセージセンター]** を選択します。
2. **[接続]** ソフトキーを押し、音声による案内に従います。

通話履歴の表示

通話履歴を表示するには、次の操作を行います：

>> **[Menu]** を押し、**[機能]**>**[通話履歴]** を順に選択し、**[不在着信]**、**[受信履歴]**、**[発信履歴]** のいずれかを選択します。

これらの履歴で選択した通話では次の操作ができます：

- その番号に発信するには、**[呼出]** ソフトキーを押します。
- ダイヤルする前に番号を変更するには、**[編集]** ソフトキーを押します。
- リストから通話履歴を削除するには、**[消去]** ソフトキーを押します。
- 連絡先を連絡先リストに保存するには、**[保存]** ソフトキーを押します。
- 通話の情報を表示するには、**[情報]** ソフトキーを押します。

電話機能のカスタマイズ

連絡先リストの更新

連絡先の追加と編集を行うには、次の操作を行います：

1. **[Menu]** を押し、**[機能]**>**[連絡先リスト]** を順に選択します。
2. 連絡先を追加するには、**[追加]** ソフトキーを押します。連絡先を編集するには、編集する連絡先までスクロールし、**[編集]** ソフトキーを押します。
3. 連絡先の情報を追加または編集します。唯一の必須フィールドは、**[連絡先]** フィールド (連絡先の電話番号) です。
4. **[保存]** ソフトキーを押します。

通話リストから連絡先リストに連絡先を追加できません (**通話履歴の表示** を参照)。

連絡先を検索するには、次の操作を行います：

1. **[Menu]** を押し、**[機能]**>**[連絡先リスト]** を順に選択します。
2. **[検索]** ソフトキーを押します。検索条件を入力し、**[検索]** ソフトキーをもう一度押します。

スピーカと着信音の調整

スピーカの音量を調整するには、次の操作を行います：

>> 通話中に  を押します。

着信音の音量を調整するには、次の操作を行います：

>> 電話機を使用していないときに  を押します。

また、電話の呼出音を停止できます (**応答拒否の使用**) を参照)。また、サイレントマナーを選択できます (**呼出音の変更**) を参照)。

呼出音の変更^{††}

呼出音は、変更したり、連絡先によって異なる音に設定したりできます。

着信を知らせる呼出音を変更するには、次の操作を行います：

1. **[Menu]** を押し、**[設定]**>**[基本]**>**[呼出音のタイプ]** を選択します。
2. 使用する呼出音のタイプまでスクロールします。選択する前に呼出音を聞くには、**[再生]** ソフトキーを押します。
3. **[選択]** ソフトキーを押します。

連絡先別に呼出音を設定するには、次の操作を行います：

1. **[Menu]** を押し、**[機能]**>**[連絡先リスト]** を順に選択します。
2. 連絡先を検索します (**連絡先リストの更新** を参照)。
3. **[編集]** ソフトキーを押し、**[呼出音のタイプ]** までスクロールします。

††. 社内設定によっては、連絡先によって異なる呼出音を鳴らす設定ができない場合もあります。

4. 使用する呼出音の番号を入力します (画面を終了して呼出音に対応する番号を見つめるには、**[Menu]** を2回押して次に**[設定]**>**[基本設定]**>**[呼出音のタイプ]** を順に選択します)。
5. **[保存]** ソフトキーを押します。

自動ヘッドセットモードの使用

電話を設定して、すべての通話が自動的にヘッドセットに送られるようにできます。

自動ヘッドセットモードを使用するには、次の操作を行います：

1. **[Menu]** を押し、**[設定]**>**[基本]**>**[プリファレンス]**>**[ヘッドセット]**>**[自動ヘッドセット]** を選択します。
2. **[使用可]** までスクロールし、**[選択]** ソフトキーを押します。
3. 自動ヘッドセットモードをアクティブにするには、 を2回押します。自動ヘッドセットモードがアクティブな場合は、ヘッドセットアイコン  が画面に表示されます。

これで、ハンドセットまたはスピーカホンモードをオンに切り替えない限り、すべての通話がヘッドセットに送られます。自動ヘッドセットモードを再度アクティブにするには、手順3を繰り返します。

自動ヘッドセットモードを無効にするには、手順1~3を繰り返します。ただし、この場合は、手順2で**[使用不可]**を選択します。



TOGETHER, GREAT THINGS HAPPEN.